さくら巡査と学ぶ交通安全シリーズ
新入学児童編

親子でチェック!!

通学路

動画もチェックしてみてください！

社会との関りが広がり、交通社会でも独り立ちをする子供たち。これからは、自分で考えて判断し、より安全な行動を選択していかなければいけません。

さぁ！１年生になるまでに、安全への準備を始めましょう！

さくら巡査

交通安全を教えるときの心得

“個”の発達段階に応じた教え方

発達段階には個人差があります。子供が理解できるまで、繰り返し教えましょう。

子供の特性に配意した教育！

好奇心や注意力の未熟さ等から、大人と違った行動をする場合があります。

子供のサポート役に徹する！

子供自身で考え、適切な行動を習得できるような声かけを心がけましょう。

通学路の点検　チェックポイント

- □ 交通量と車の走行速度
- □ 車道と歩道の道幅
- □ 通学路の距離
- □ 道路横断場所の見通しのよさ
- □ 信号機や横断歩道のある場所
- □ 人通りの多さ
- □ 遮蔽物
- □ 天候や時間帯による交通状況や環境の変化

その他、道路状況等に応じて、必要なチェックポイントを考えてみましょう！

これだけは押さえておきたい！学習ポイント！

● 安全に歩ける場所！

歩道 ない場合は → 路側帯 ない場合は → 右側通行

歩道や路側帯を歩く場合でも、できるだけ車から離れた所を歩くように伝えましょう。

● 安全に横断できる場所！

信号や横断歩道のある道路、見通しのよい道路などを選んで横断することを伝えましょう。

★「合図横断」を指導しましょう！★

信号機のない横断歩道を渡る時は、手のひらと顔をドライバーに向けて、渡りたい気持ちを合図で伝えましょう。車が止まっても油断せず、ドライバーの目線（アイコンタクト）や、他の車両にも十分注意して、周りをよく見ながら横断しましょう！

ポイントはドライバーとのコミュニケーションです！“手をあげる”などの動作だけになってしまわないように、繰り返し丁寧な指導をお願いします。

※　参考：企業開発センター 月刊自動車管理 2020 9月号

まずは道路に飛び出さないことを子供が理解することが大切です。そのためには、横断前に必ず周囲の安全を確認することを繰り返し教えてください。

一方的に教え込むのではなく、子供自身が考えられるように伝え方を工夫しましょう！

心理学博士・主幹総合交通心理士
大谷 亮 先生

京都府警察